

## シングルマザーの就職活動、応募求人条件と賃金の関係

－WEB 求人広告サービスの業務データを用いた計量分析

### <要旨>

シングルマザーは主たる家計の担い手でありながら、主たる家事・育児の担い手でもある。公的統計を見ると、子どもあるいは配偶者のいる女性の中でもシングルマザーほど雇用形態に関わらずフルタイムで働いている者が多いのであるが、フルタイムながらも子育てとの両立が可能な、柔軟な勤務条件の仕事についている可能性が考えられる。

本稿ではシングルマザーがフルタイムかつ柔軟な勤務条件を持つという希少な求人を選ばざるを得ないことが、シングルマザーの低賃金就業の一因と考え2点の分析を行った。

第一にはシングルマザーほど求人応募時に、フルタイムやフルタイムかつ「残業なし」など柔軟な勤務条件を持つ仕事を選んでいるのかどうか、また具体的にどのような勤務条件が好まれているのか、さらには応募後の採用のされやすさについて分析した。第二にはシングルマザーに望まれる勤務条件が備わっている場合には、そうでない場合と比べ、求人の提示賃金は高くなっているのか、低くなっているのかを分析した。

分析の結果明らかになった点は以下の3点である。第一には、シングルマザーほどフルタイム求人へ応募したか、どの求人にも応募しない者が多く、フルタイム未満の求人への応募は少ない。応募後の採用結果については、シングルマザーであることが応募後の不採用確率を高めているという傾向は確認されなかった。第二には、シングルマザーに応募がされやすい具体的な求人条件としては、フルタイムかつ残業が少ないこと、土日休みであること、であった。また子どもの都合で休みが調整可能や、出勤時間が遅めであることもシングルマザーの就業にとって重要な要件となっていた。第三に以上のようなシングルマザーに特に望まれていると考えられる、フルタイムかつ柔軟な勤務条件が設定されていた場合、求人の提示賃金は低くなりやすい傾向が確認できた。しかし専門性の高い職業のみにサンプルを限った分析結果ではそのような傾向は見られなかった。